



角質除去や清浄を目的に使用されている化粧品に用フラビーズに関して、

海洋生物の誤飲による生態系への影響や沿岸環境の悪化を招く海洋プラスチック廃棄物として報告し、米国では昨年12月に洗い流しのパーソナルケア製品への特定のマイクロプラスチックに対して使用を段階的に廃止する法律が定められた。EU内でも化粧品への使用規制がかけられはじめてい

る。

「フィットオーヴ」(セ

のスクラップ剤について

も期待できる。

また、来賓の祝辞では

吉野ヶ里町の岩崎副町長

が「吉野ヶ里町では、安

定した雇用の確保を課題

と、同展示会への出展は今年で10回ほどを数える。来場者の数や反応には毎年手応えを強めているが、今年も同社ブースへの来場者数は前回の1・5倍ほどに達するなど、関心の高さを痛感する濃厚な3日間となった。展示会を機に既に正式注文につながりそうな案件もあるといい、ビジネスチャンスが広がりを

うた。

同社が販売する真空乳

化機は韓国で80%超の市

場シェアをもつ「宇

元が製造している。

韓国内だけでなく、

近年は欧米やアジア

など海外各国への輸

出も増加しており、

「脱プラスチックビーズ」需要への 一丸ファルコス 対応強化

そうした海外の動きを

受け、日本でも今春、日

本化粧品工業会が会員各

社に対し、環境保全のた

めの予防的な対応とし

て、スクラップ製品へのマ

イクロプラスチックビー

ズの段階的な使用中止を

呼びかけた。

同社は「昨年からプラ

ビーズの代替原料や環境

配慮型のスクラップ素材に

関する問い合わせが増え

始めたこと語る。中でも、

「環境と肌によさしい体

感型オーダーメイド顆

粒」シリーズとしてライ

オンナップするセルロース

基剤の「フィットオーヴ」

が、プラビーズ代替を目

的にOEM依頼が増えて

いるという。

一方、古くからニーズ

もたらすため、感触向上

のスクラップ剤について

も期待できる。

また、来賓の祝辞では

吉野ヶ里町の岩崎副町長

が「吉野ヶ里町では、安

定した雇用の確保を課題

としており、企業の誘致

に努めていた。今回、中

国、アジアを視野に入れ

た西日本の生産拠点とし

て当町に着目され、昨年

12月に締結の調印式を行

った決断の速さに感謝し

ている。進出を機に、吉

野ヶ里町、ひいては佐賀

エヌ・ピー・ラボ

真空乳化機が 「インターフェックス」で好評 OEM企業への納入案件も増加

真空乳化機を中心にした化粧品などの各種製造機器を販売しているエヌ・ピー・ラボ(東京)は、6月29日～7月1日にかけて都内で開催された展示会「インターフェックス ジャパン」に出展し、主力の真空乳化機などの性能の高さや割安な価格をアピールした。

菊地正仁社長による

は日本の代理店として1999年から販売を開始し、大手化粧品メーカーやOEM企業などへの納入実績を積み上げてきた。

製造こそ宇元が担うものの、事前のヒアリングから機器の作図、搬入・据付工事、アフターメン

テナンスなどまで広範囲にカバーしており、特に近年は「機械の設置場所

などを含めて工場全体を

浴びることもあったとい

うが、導入してみると日

本製と遜色ない性能であ

ることへの理解が広が

り、さらに競合他社に比

佐賀新工場の竣工式を実施

椿化工

化粧品・トイレタリーの容器を製造・開発する椿化工(本社 埼玉県)は6月29日、佐賀県吉野ヶ里町に建設した九州佐賀工場の竣工式を行った。竣工式には企業誘致した吉野ヶ里町の岩崎和憲副町長や建設会社、取引会社などから205人が出席した。

藤村太郎社長は、「埼

場建設の経緯を説明。無

事故で工場の完成に至

たことに対して感謝の念

を述べた。

佐賀工場は「女性に優

しい。社業の発展にと

賀工場の建設に着手し

た」と、出席者の前で工

産業務を進められ、顧客

企業との打ち合わせも効

率良く行えるような環境

をを整えたという。加飾

ら製造まですべて現在の

埼玉工場と同様の設備を

揃え、生産規模を1・5

倍に拡大して対応力の高

化を図った。

また、シリーズのもう

「製品である「リピオー

は、スクワランを基

剤としたオイル顆粒であ

る。

油性成分のため、既存

のベース処方を変えずに

そのまま活性剤フリーで

油分を添加することがで

き、顆粒がつぶれて広が

るとエモリエント効果を

大きくすると持論を述べ、

出席者に継続的な社業の

発展を誓った。

また、来賓の祝辞では

吉野ヶ里町の岩崎副町長

が「吉野ヶ里町では、安

定した雇用の確保を課題

